

1 計画の概要

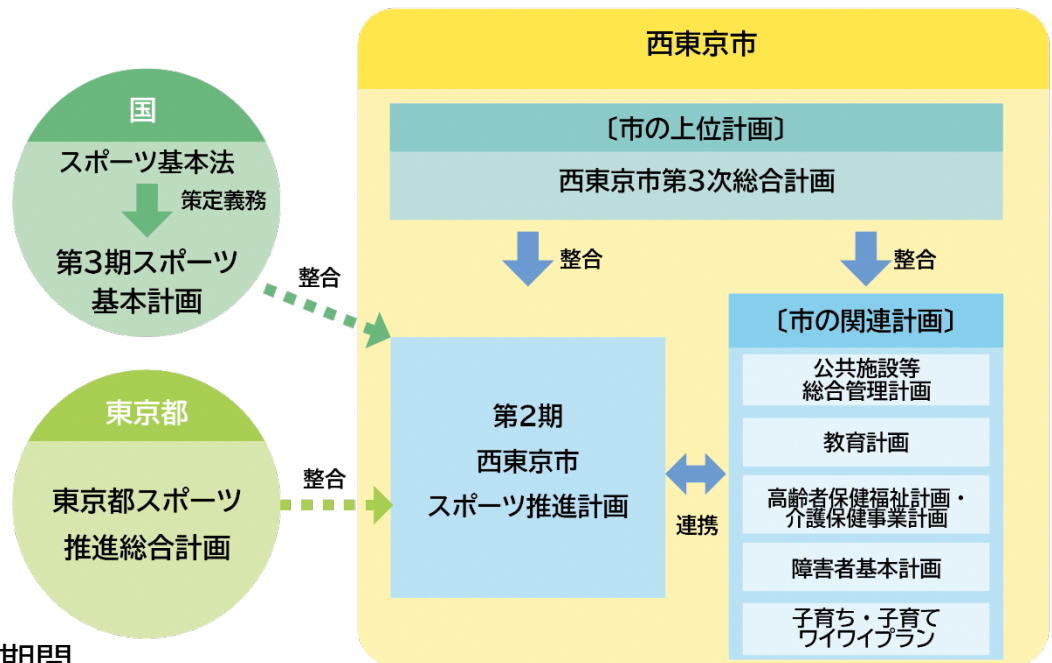
本編 P2～

(1) 計画策定の趣旨

前計画が令和5（2023）年度には最終年度を迎えることから、市におけるスポーツの実態やニーズを踏まえ、前計画を発展的に継承し、市のスポーツ施策の一層の推進を図るため、第2期となる本計画を策定します。

(2) 計画の位置づけ

本計画は、国や都の関連計画、市の最上位計画・関連計画と整合を図っています。



(3) 計画期間

本計画の計画期間は、令和6（2024）年度を初年度とし、令和15（2033）年度を最終年度とした合計10年間とします。

(4) 本計画におけるスポーツ

本計画は、「スポーツ」を幅広く捉え、自らが身体を動かして行う「する」スポーツだけではなく、競技を観戦する「みる」スポーツや、監督・コーチなどの指導者、スポーツ大会の審判やスタッフ、プロチームのファンやサポーターとして参加する「ささえる」スポーツなども、スポーツとして捉えています。

さらに階段の昇り降りや、駅までの徒歩の移動、身近な場所・環境での散歩など、日常生活における身体活動を含むものとしても捉え、「スポーツ」という概念や活動を広く定義づけ、市民の誰もが楽しめるスポーツを推進していきます。

また、本計画では障害の有無にかかわらず多様な市民が楽しめるスポーツを「パラスポーツ・インクルーシブスポーツ^{※1}」とし、市民一人ひとりの状況に応じて誰もがスポーツに親しむことができる環境を充実していきます。

※1 市民意識調査時点で「障害者スポーツ」という表現を用いていたため、一部表現が混在しています。

2 西東京市のスポーツの現状と課題

本編 P5～

(1) 西東京市のスポーツを取り巻く社会動向

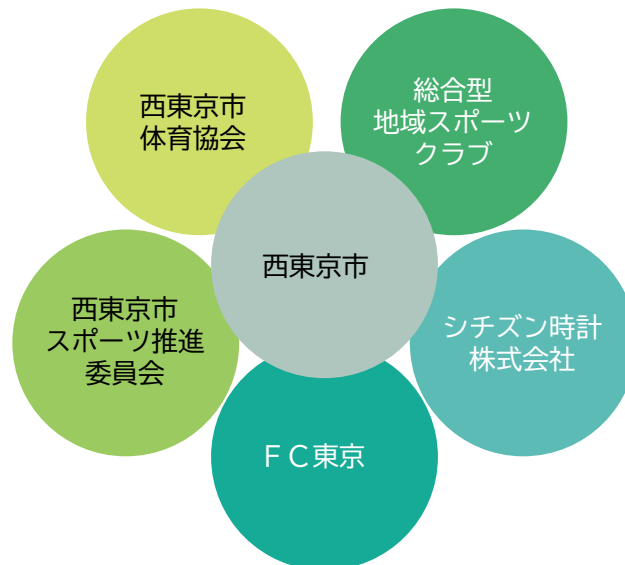
国	第3期スポーツ基本計画 (令和4(2022)年3月)	○「つくる／はぐくむ」「あつまり、ともに、つながる」 「誰もがアクセスできる」の3つの新たな視点 ○東京2020大会のスポーツ・レガシーの継承・発展
東京都	東京都スポーツ推進総合計画 (平成30(2018)年3月)	○基本理念は、「スポーツの力で東京の未来を創る」 ○「スポーツを通じた健康長寿の達成」「スポーツを通じた共生社会の実現」「スポーツを通じた地域・経済の活性化」の3つの政策目標

(2) 西東京市の現状

●人口

目標年次の令和15(2033)年における人口は204,635人、人口構成は年少人口が10.8%、生産年齢人口が62.6%、老年人口が26.6%と推計され、少子高齢化を見据えたスポーツ施策の展開が求められています。

●西東京市で活動する団体・スポーツクラブ等



西東京市民スポーツまつりの様子

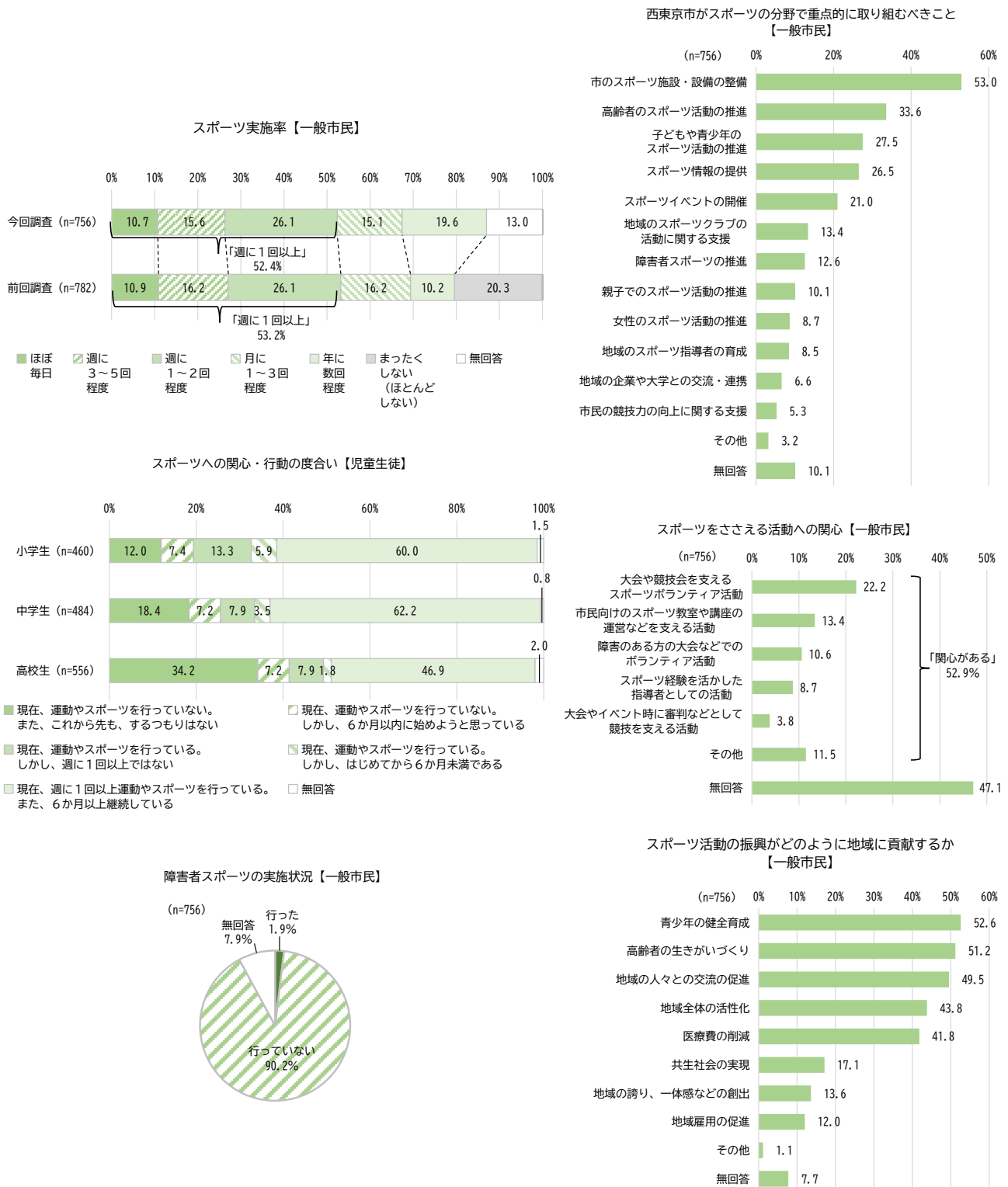


西東京市総合体育大会の様子

(3) 市民のスポーツに対する意識と主な課題

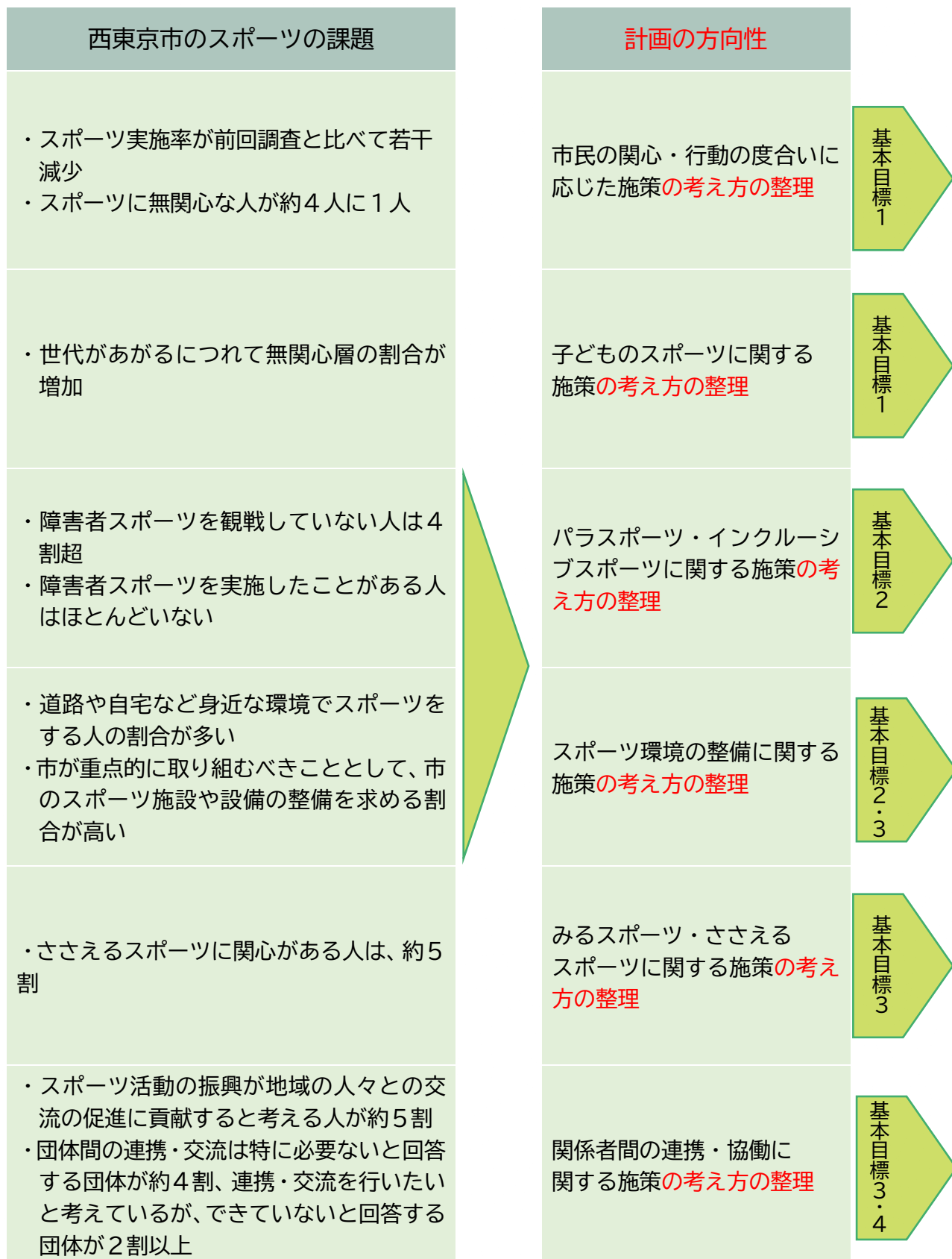
令和4（2022）年度に実施した「西東京市スポーツに関する市民意識調査※2」の結果を踏まえ、

西東京市スポーツに関する意識調査の主な結果

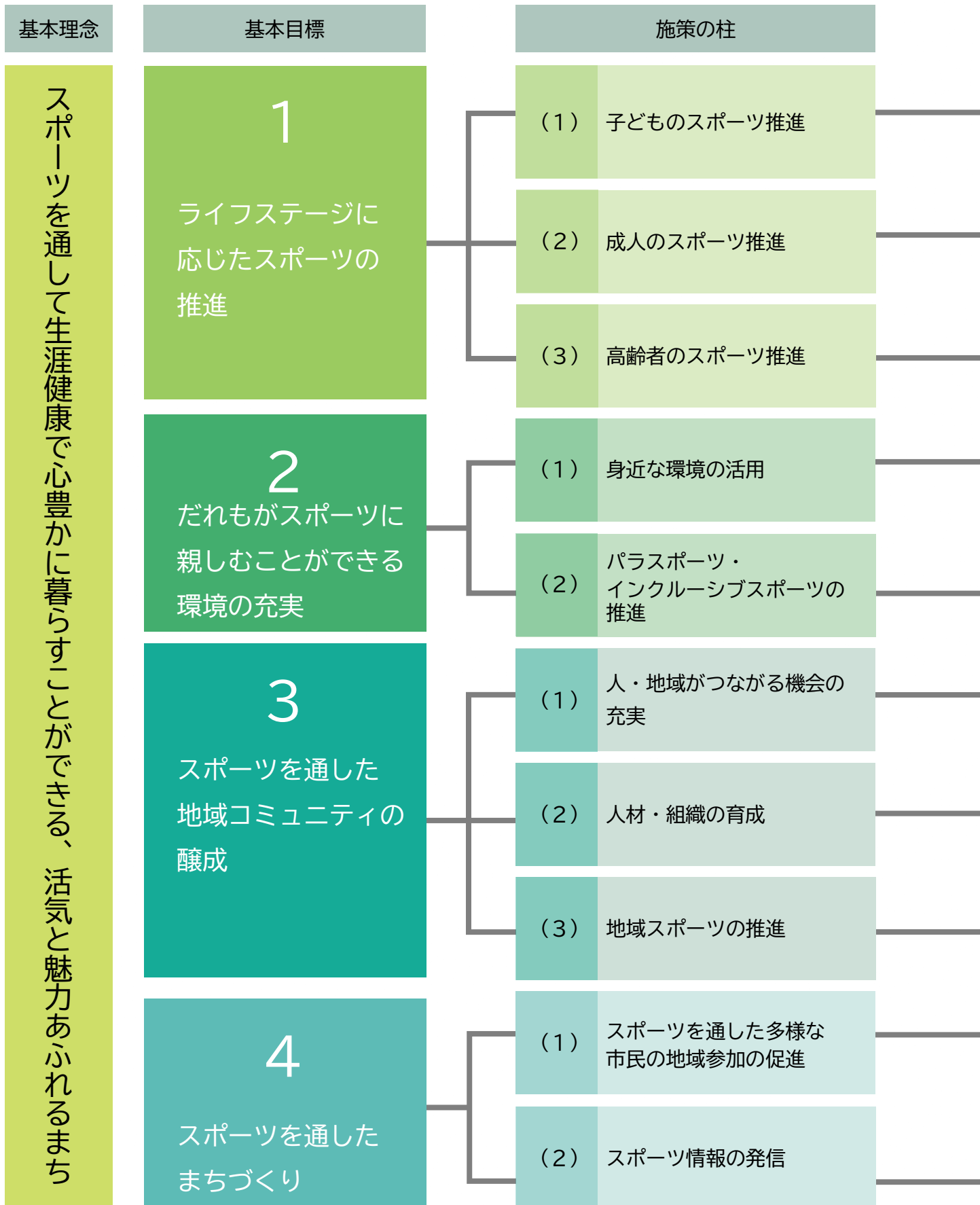


※2 ①一般市民、②児童生徒（小学生、中学生、高校生）、③スポーツ施設登録団体を対象に令和4（2022）年11月に実施しました。

市のスポーツの課題を以下のように整理しました。



3 計画体系



施策

- ①子どもがスポーツに親しむ場の充実
- ②子どもがスポーツに親しむ機会の充実
- ③スポーツに親しむきっかけづくり
- ④トップアスリートに触れる機会の推進
- ⑤競技力向上につながるスポーツの機会の充実、活動の支援
- ⑥学校部活動の地域連携・地域移行の検討

- ①健康づくりにつながるスポーツの推進
- ②働き盛り・子育て世代のスポーツ機会の充実
- ③スポーツに親しむきっかけづくり【再掲】
- ④競技力向上につながるスポーツの機会の充実、活動の支援【再掲】

- ①スポーツに親しむきっかけづくり【再掲】
- ②スポーツを通じた介護予防・フレイル予防の推進
- ③スポーツを通じた地域参加の機会の充実

- ①公共スポーツ施設の利用促進
- ②学校施設や身近な空間・場所の有効活用
- ③近隣自治体、民間事業者等と連携したスポーツの場の充実
- ④公共スポーツ施設の計画的な改修・設備更新

- ①パラスポーツ・インクルーシブスポーツの支援
- ②パラスポーツ・インクルーシブスポーツを支える人材の発掘・育成
- ③パラスポーツ・インクルーシブスポーツにおける連携体制の充実

- ①若い世代のスポーツを通じた地域参加の機会の充実
- ②スポーツを通じた多世代間の交流の促進

- ①スポーツ団体・クラブの支援
- ②スポーツ推進委員との連携促進
- ③スポーツを支える人の育成・支援
- ④パラスポーツ・インクルーシブスポーツを支える人材の発掘・育成【再掲】
- ⑤大学・民間の人材との連携促進
- ⑥学校部活動の地域連携・地域移行の検討【再掲】

- ①総合型地域スポーツクラブの活動支援
- ②総合型地域スポーツクラブと地域団体との連携促進
- ③学校施設や身近な空間・場所の有効活用【再掲】

- ①多様なスポーツ機会の提供
- ②各種国際大会等に向けた機運の醸成
- ③体育協会との連携事業の充実

- ①スポーツ関連情報の一元的な管理・提供
- ②ICTを活用したスポーツの推進
- ③公共スポーツ施設の利用促進【再掲】
- ④スポーツ観戦情報の提供
- ⑤スポーツ相談窓口の充実

4 計画の指標

本編 P28

基本 目標	施策 の柱	指標	現状値 (令和4年度)	目標値 (令和15年度)
1	(1)	スポーツに無関心な 児童・生徒	小学生：12.0% 中学生：18.4% 高校生：34.2%	小学生：10.0% 中学生：15.0% 高校生：20.0%
		スポーツ実施率	小学生：80.4% 中学生：76.4% 高校生：59.2%	85.0%
	(2) (3)	スポーツ実施率	52.4% (市民全体)	70.0% (市民全体)
2	(1)	運動やスポーツをする場所とし て公共施設を活用する市民の割 合	15.1%	20.0%
	(2)	パラスポーツ・インクルーシブ スポーツを行ったことがある人 の割合	1.9%	10.0%
3	(1)	西東京市民スポーツまつりの参 加人数	832人 ^{※3}	5,000人 ^{※4}
	(2)	スポーツを支える活動に関心が ある市民の割合	52.9%	70.0%
	(3)	総合型地域スポーツクラブへの 参加割合	一般：3.0% 小学生：12.0% 中学生：6.4% 高校生：0.9%	一般：5.0% 小学生：15.0% 中学生：8.0% 高校生：2.0%
4	(1)	スポーツ活動の振興が地域の誇 りや一体感の創出につながると 思う市民の割合	13.6%	20.0%
	(2)	スポーツに関する情報のSNS での発信数	19件	50件

※3 令和4年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、規模を縮小し、午前中のみ開催しました。

※4 [参考] 平成29(2017)年度：6,996人、平成30(2018)年度：4,518人、令和元(2019)年度：1,416人
令和2(2020)年度、令和3(2021)年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。

5 計画推進のための方策

本編 P41～

(1) 各主体の役割

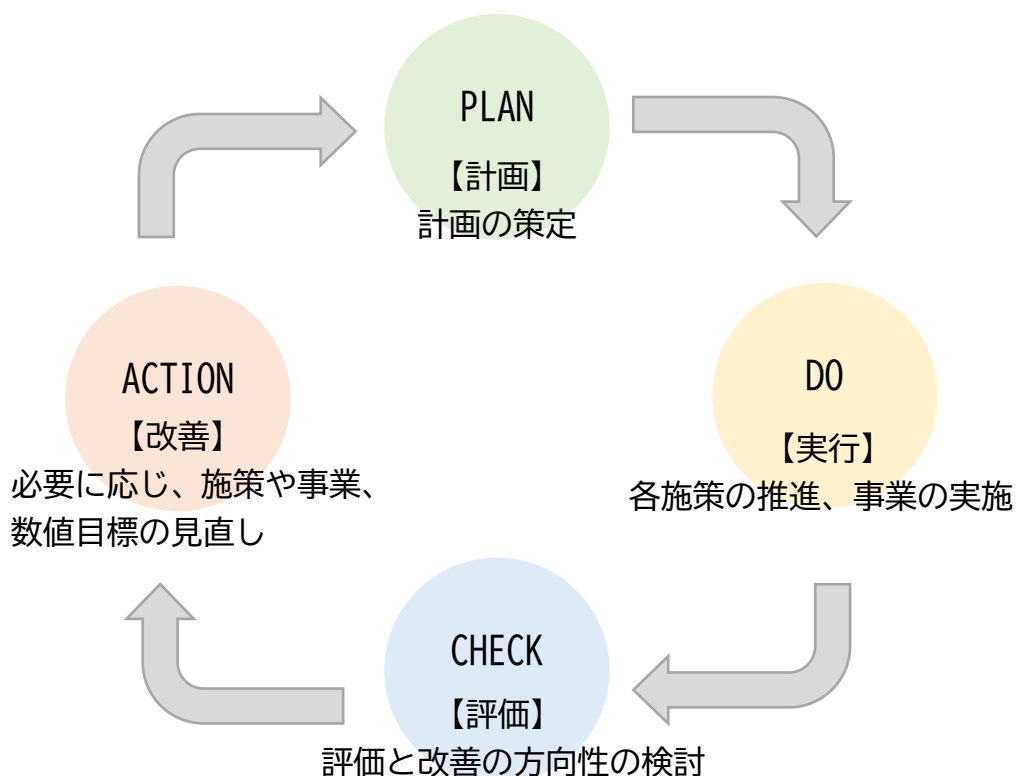
計画の推進に向けて、市民、スポーツクラブ・団体、民間事業者、地域活動団体などが、協力・連携を行い、それぞれが主体的にスポーツ推進に取り組むことで、スポーツにより市民が心身ともに健康で暮らすことができる活気と魅力あふれるまちづくりを目指します。

(2) 計画の評価と進捗管理

PDCAサイクルで計画を推進し、計画の目標を達成するために、実行に対する適切な評価とそれぞれに伴う改善を行っていきます。その際は、スポーツ推進審議会及び庁内における関係部署が、定期的な進行管理と実施状況の評価、見直しの役割を担います。

また、スポーツ推進は幅広い行政分野にまたがるため、庁内においても、複数部署間で情報の共有を促進していきます。

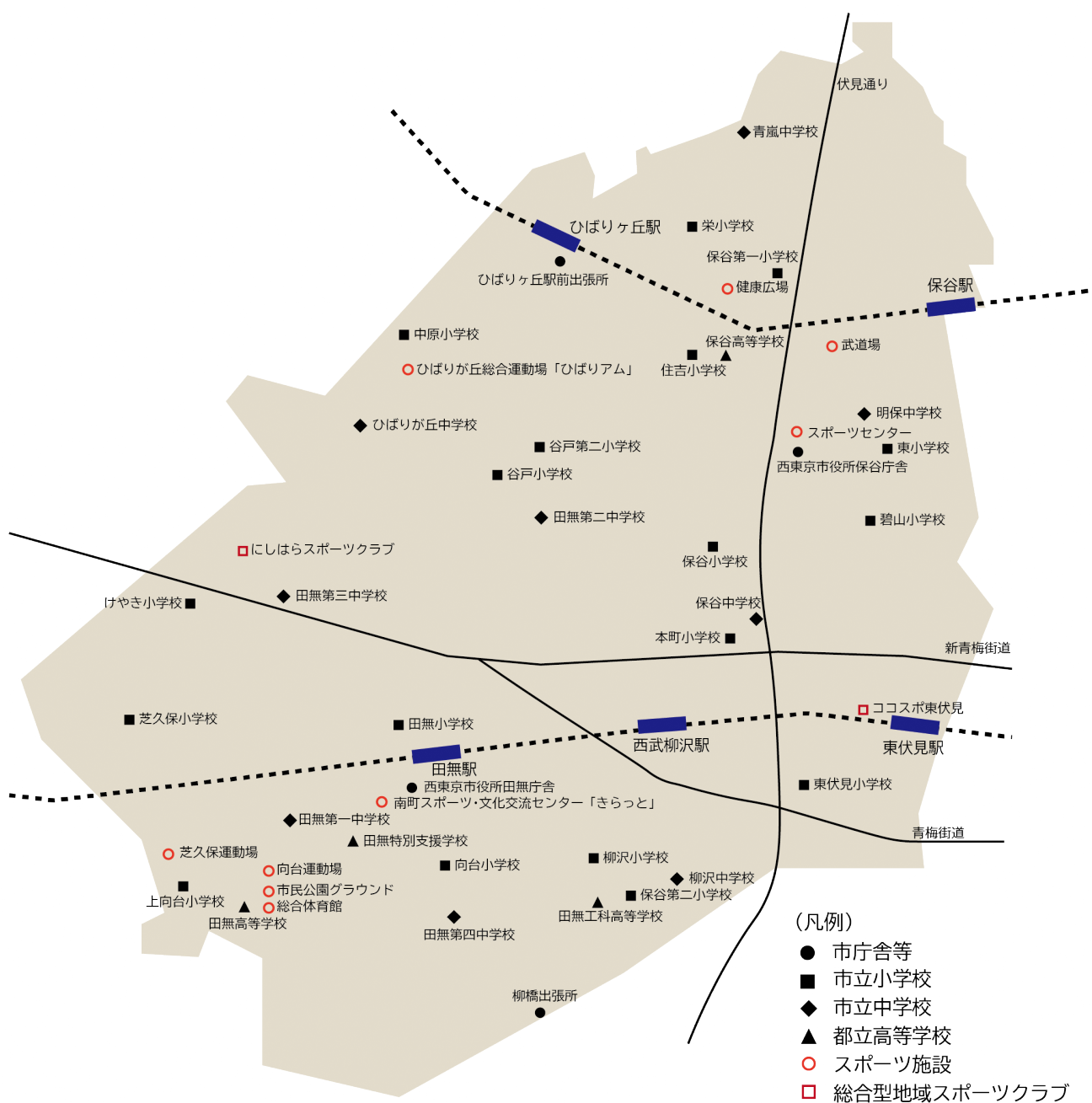
●PDCAサイクルのイメージ



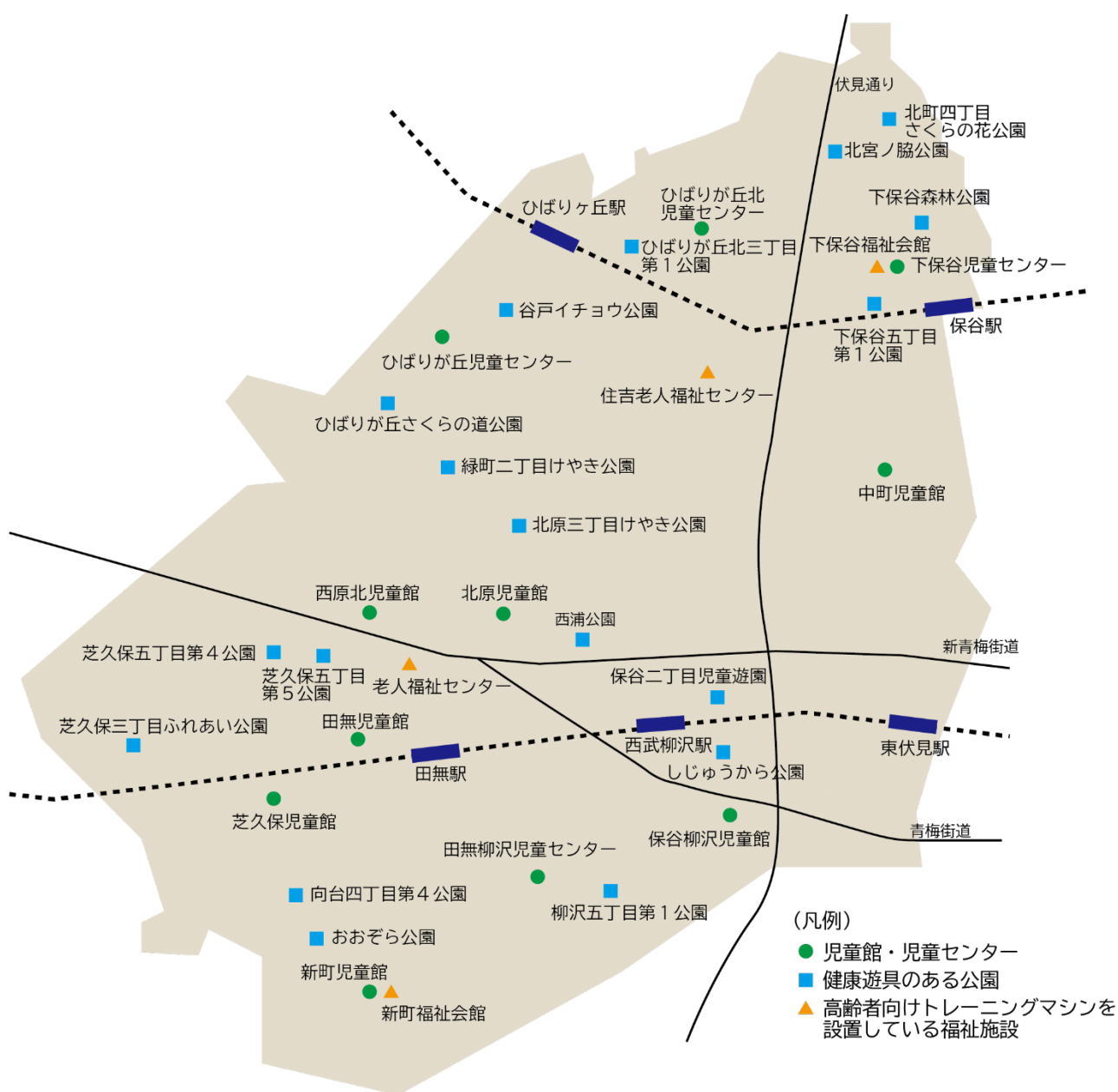
6 西東京市のスポーツ環境

市には、公共スポーツ施設が9施設あります。他にも、2つの総合型地域スポーツクラブや、スポーツ機能のある児童館・児童センター、高齢者向けのトレーニングマシンを備えた福祉施設などの公共施設、学校施設の開放、民間スポーツ施設、身近な公園等の多様なスポーツ環境が、市民のスポーツ実践を支えています。

●西東京市内の公共スポーツ施設・公立学校・総合型地域スポーツクラブ



●西東京市内のスポーツ機能を備えた児童館・児童センター、福祉施設、健康遊具のある公園



第2期
西東京市スポーツ推進計画
〔概要版〕

西東京市スポーツ推進計画〔概要版〕
令和6（2024）年3月
編集・発行 西東京市生活文化スポーツ部スポーツ振興課
〒188-8666
西東京市南町五丁目6番13号
042-464-1311（代表）